

安全上の注意

● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。

● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることを生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに別して示しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

● 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近例に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告

● 修理技術者以外の方は、絶対に分解し修理・改造をしないこと
● 交流 100 V 以外では使用しないこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● アースを確実に取り付けること

● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること

注意

● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
● 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
● 取り付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをすることがあります
● 部品の取り付けは確実におこなうこと
● 落下によりけがをすることがあります
● 作業は 2 人以上でおこなうこと
● レンジフードは約 21 ~ 28kg の重さがあります

取り付け上のお願い

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的な資格者がおこなう必要があります。
● 大工工事【設置のための下地工事等】
● 配線工事【コンセントやスイッチの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】
● 管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】

● レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。なお、レンジフード取付高さは、レンジフードの下端が調理機器の真上 80cm 以上になるようにしてください。

● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。

● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

● 部屋の中央で調理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

● 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm² 程度の空気取入口を設けてください。

● 寒い地域ではダクトが結露しレンジフード内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。

● ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください（目安：勾配 1/100 ~ 1/50 程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

● 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。

警告

● 修理技術者以外の方は、絶対に分解し修理・改造をしないこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと

● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと

● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッパ網など）と接触しないよう取り付けること
● 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと

● 取り付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと

● 落下によりけがをすることがあります

取り付け前の調査と準備

1 天井面への穴あけ
2 排気ダクトの突き出し
3 吊りボルトの取り付け

● 天井面への穴あけ
取付要領図および取付詳細図-1 を参照し、事前に管工事業者（法的な資格者）へ天井面へのダクト穴の開口を依頼してください。

● 排気ダクトの突き出し
φ 150 のスパイラルダクトを、下記の位置に突き出してください。

● 吊りボルトの取り付け
M10 または M12 の吊りボルトを 2 本、天井内の梁などの頑健な部分に固定します。固定ピッチは下表の通りです。
※ 吊りボルトは、M10 または M12 を用いてください。
※ 吊りボルトは、製品を支える十分な強さを確保してください。必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。

● 標準取付寸法
本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面から製品の下端まで 80cm です。
※ 火災予防条例では、グリッドフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。

● 電源コンセント・ブレーカー
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相 100V）
コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

取付詳細図-2

● 取付詳細図-2
M10 または M12 の吊りボルトを 2 本、天井内の梁などの頑健な部分に固定します。固定ピッチは下表の通りです。
※ 吊りボルトは、製品を支える十分な強さを確保してください。必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。

● 取付詳細図-2
M10 または M12 の吊りボルト（2 本）、M10 または M12 のワッシャー（4 枚）およびナット（4 個）は取付業者側にて手配してください。

各部のなまえ

● 各部のなまえ
電源プラグ、フード本体、スイッチ、照明カバー、整流板、オイルパネル、ダクトカバー（別売品）、後蓋、取付金具、吊り金具、前蓋取付金具、後蓋取付金具、天吊り金具、本体、前蓋、横ふさぎ板

製品寸法図

● 製品寸法図
（単位：mm）
※ 本図は右壁仕様です。左壁仕様は対称となります。（排気口位置を除く）
※ 製品高さ H = 500mm 未満の場合、別売 L 形ダクトは使用できません。

● 製品寸法図
（単位：mm）
※ 本図は右壁仕様です。左壁仕様は対称となります。（排気口位置を除く）
※ 製品高さ H = 500mm 未満の場合、別売 L 形ダクトは使用できません。

付属品

● 付属品
座付ねじ (φ 5.1 × 45) 8 本
ソフトテープ 1 本
排気口 1 個
トラスねじ (M4 × 8) 6 本
低頭ねじ (M4 × 8) 6 本
皿ねじ (M4 × 10) 2 本
天吊り金具 2 個
吊り金具 2 個
前蓋 1 枚
後蓋 1 枚
横ふさぎ板 1 枚
前蓋取付金具 1 個
後蓋取付金具 2 個
後蓋固定金具 2 個
取付金具 2 個
穴ふさぎテープ 2 個

1. 付属品の確認

● 付属品の確認
梱包箱から付属品を取り出し、右上項の付属品一覧により不足がないか確認します。

● 取付作業の際はキズ・破損のないよう十分注意してください。
● 前蓋・後蓋の保護用のクッション材と固定テープは「9. 前蓋・後蓋の取り付け」まではずさないでください。
● 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

2. 排気方向の決定

● 排気方向の決定
製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的な資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。（ダクトの風漏れ防止のテーピング作業ができるよう、壁穴は大きめに開けてください。）
また、コンセントの位置を確認してください。（「8. 電気配線」図 8-1 参照）

● 排気方向の決定
φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして周囲を仕上げてください。（コンクリート、タイル、土壁の場合）（図 2-1）

注意

● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと

● 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的な資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。（ダクトの風漏れ防止のテーピング作業ができるよう、壁穴は大きめに開けてください。）
また、コンセントの位置を確認してください。（「8. 電気配線」図 8-1 参照）

● φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして周囲を仕上げてください。（コンクリート、タイル、土壁の場合）（図 2-1）

3. 排気用部品の準備

● 排気用部品の準備
※ 「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。

● 排気用部品の準備
※ 「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。

● 排気用部品の準備
※ 「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。

4. 本体の準備

● 本体の準備
本書では右壁仕様の場合で説明しています。左壁仕様の場合は左右対称として見てください。なお左壁仕様の場合は、吊り金具、天吊り金具、横ふさぎ板、取付金具の取付位置が右壁仕様と反対になります。（図 4-1）

1. スイッチをとめている固定テープをはずします。

● スイッチをとめている固定テープをはずします。（図 4-2）

● 整流板をはずします。（図 4-3）
1) 整流板を固定している左右の固定ねじをゆるめます。
2) 整流板取付ねじがだるま穴の中心位置までくると整流板を慎重にはずします。整流板取付金具から整流板取付金具をはずします。

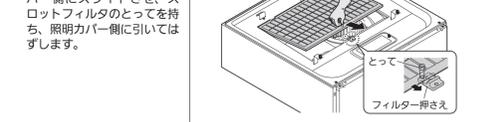
● 整流板をはずします。（図 4-3）
1) 整流板を固定している左右の固定ねじをゆるめます。
2) 整流板取付ねじがだるま穴の中心位置までくると整流板を慎重にはずします。整流板取付金具から整流板取付金具をはずします。

取り付けかたは裏面に続きます。

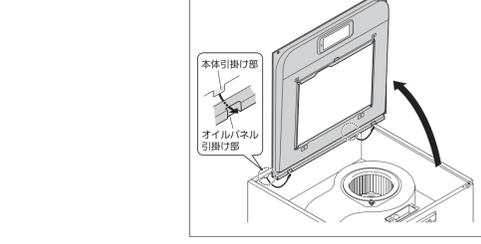
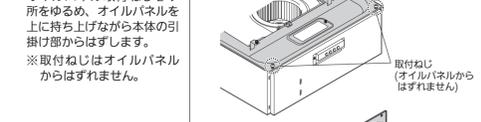
こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

取り付けかた

3 スロットフィルタをはずします。(図4-4)



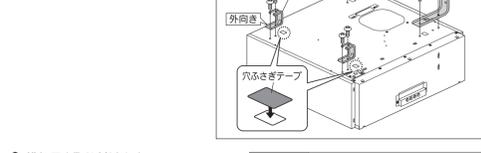
4 オイルパネルをはずします。(図4-5)



以降は右壁仕様での説明図です。左壁仕様の場合は、吊り金具、天井吊り金具、横ふさぎ板、取付金具の取付位置が右壁仕様と反対になります。(「4. 本体の準備」(図4-1) 参照)

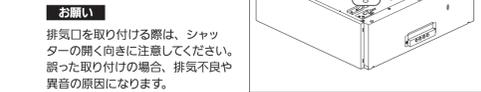
5 天井吊り金具、吊り金具を取り付けます。(図4-6)

- フッド天面の各取付位置に付いている取付ねじ2本をはずし、付属品の吊り金具、および天井吊り金具各2個を図のように取り付けます。
- 取り付け後、付属品の穴ふさぎテープで天井吊り金具近傍の穴をふさいでください。



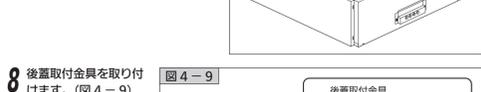
6 排気口を取り付けます。(図4-7)

- 排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。
- 本体に付いている取付ねじ2本を取り出し、排気口を本体上部の差込口に差し込み、はずしたねじ2本で取り付けます。
※取り付け方向は右図を参照してください。



7 前蓋取付金具を取り付けます。(図4-8)

- 付属品のトラスねじ(M4×8)2本で前蓋取付金具を取り付けます。



8 後蓋取付金具を取り付けます。(図4-9)

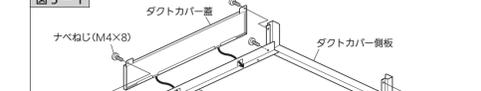
- 本体の後面上部2ヶ所に後蓋取付金具を低頭ねじ(M4×8)各2本で取り付けます。
- 本体の後面下部2ヶ所に後蓋固定金具を低頭ねじ(M4×8)各1本で取り付けます。



5. ダクトカバーの取り付け

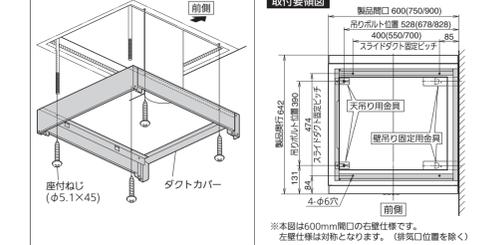
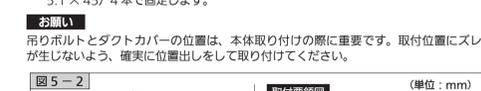
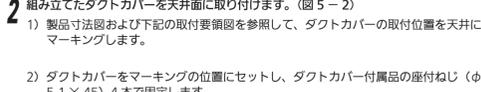
1 ダクトカバー(別売品)を組み立てます。(図5-1)

- 梱包箱から取付様、ダクトカバー側板、ダクトカバー蓋各2個を取り出します。
※ダクトカバー側板、ダクトカバー蓋の保護シートをはがします。
- ダクトカバー付属品のナベねじ(M4×8)各2本でダクトカバー側板と取付様を組み立てます。
- ダクトカバー蓋上側2ヶ所のツメを取付様の穴に引っ掛け、下側2ヶ所をダクトカバー付属品のナベねじ(M4×8)各2本でダクトカバー側板に取り付けます。



2 組み立てたダクトカバーを天井面に取り付けます。(図5-2)

- 製品寸法図および下記の取付要領図を参照して、ダクトカバーの取付位置を天井にマーキングします。
- ダクトカバーをマーキングの位置にセットし、ダクトカバー付属品の座付ねじ(φ5.1×45)4本で固定します。

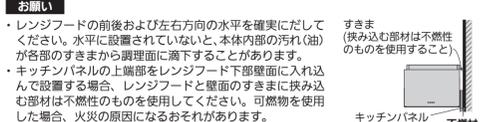


※本図は600mm幅口の右壁仕様です。左壁仕様は別称となります。(排気口位置を除く)

6. 本体の取り付け

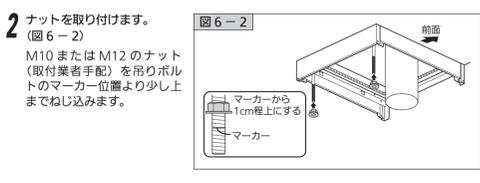
注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下によりけがをすることがあります
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをすることがあります



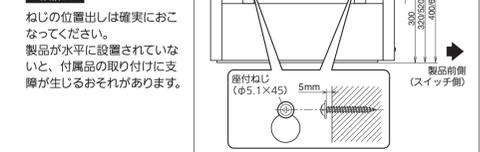
1 レンジフードの固定位置を決めます。(図6-1)

- 図を参考にして、次式によりマーカ位置(X)の値を算出してください。
X=天井高さ-(キッチンカウンター高さ+800+260)
- 例: 天井高さが2400mm、キッチンカウンター高さが850mmのものを設置する場合は:
2400(天井高さ)-(850+800+260)=490
- 天井からのマーカ位置(X)は490mmとなります。



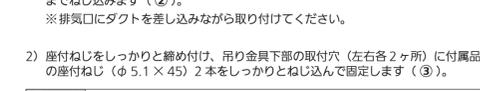
2 ナットを取り付けます。(図6-2)

- M10またはM12のナット(取付業者手配)を吊りボルトのマーカ位置より少し上までねじ込みます。



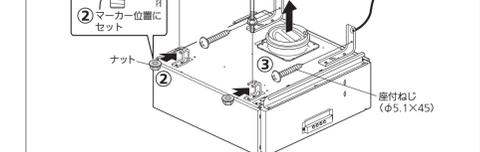
3 本体だるま穴用座付ねじ2本を壁面にねじ込みます。(図6-3)

- 製品寸法図を参照し、だるま穴位置(2ヶ所)に付属品の座付ねじ(φ5.1×45)2本をねじ込み、壁面とのすきま5mmまで締め付けます。



4 レンジフードを取り付けます。(図6-4)

- ※取り付けの際に天井面とレンジフードのすきまが少なく、作業が困難な場合は、ダクトカバー蓋をはずしておこなってください。完了後は必ずダクトカバー蓋を再度取り付けてください。



5 横ふさぎ板を取り付けます。(図6-5)

- 横ふさぎ板裏面の右図位置にあるねじ4本をゆるめます。(図6-5)



6 横ふさぎ板を本体にはめ込みます。(図6-6)

- 横ふさぎ板を本体にはめ込みます。(図6-6)



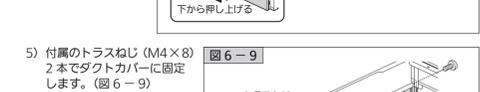
7 付属のトラスねじ(M4×8)2本で本体に取り付けます。(図6-7)

- 付属のトラスねじ(M4×8)2本で本体に取り付けます。(図6-7)



4) 手順1)でゆるめたねじを締め付けます。(図6-8)

- ※締め付けの際は横ふさぎ板を押し上げるようにしながら締め付けてください。



5) 付属のトラスねじ(M4×8)2本でダクトカバーに固定します。(図6-9)

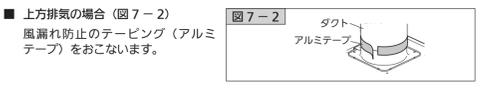
- 付属のトラスねじ(M4×8)2本でダクトカバーに固定します。(図6-9)



7. ダクトと排気用部品の接続

お願い

- ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図を参照してドリリングタッピンねじ使用範囲以内に固定してください。(図7-1)



■ 上方排気の場合(図7-2)

- 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。



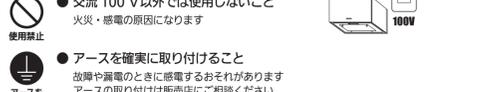
■ 後方排気の場合(図7-3)

- (別売)L形ダクトを使用する場合は、※製品高さH=500mm未満の場合、別売L形ダクトは使用できません。



■ 排気口設置面の漏風確認のお願い(図7-4)

- 排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面(フード天面等)が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転)をおこなってください。漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等(現場調達品)で漏風防止処置をおこなってください。

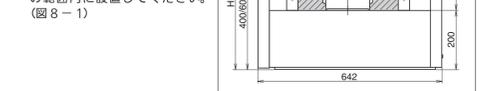


8. 電気配線

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
- 交流100V以外では使用しないこと
発火・感電の原因になります
- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります

- アース工事(D種接地工事)をおこないます。
※アース線は取り付け作業側にて手配してください。
- 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。



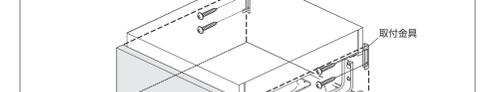
9. 前蓋・後蓋の取り付け

お願い

- 前蓋および後蓋取り付けの際は、変形などさせないよう取り扱いには十分注意してください。

1 取付金具を取り付けます。(図9-1)

- 取付金具2個を付属品の座付ねじ(φ5.1×45)各2本で取り付けます。

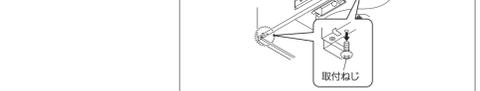


2 前蓋を取り付けます。(図9-2)

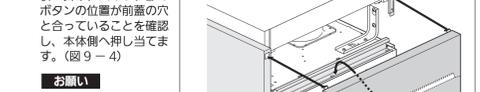
- 1) 本体正面のスイッチ部を下に突き当たるところまで下げます。(図9-2)
※スイッチ部が確実に下がっていることを確認してください。



2) 本体下側の右図位置にある取付ねじ2本をはずします。(図9-3)



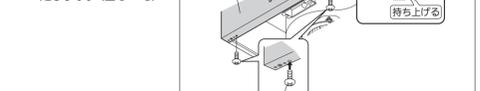
3) 前蓋裏面のレールを本体の引掛け部に図のように引っ掛け、スイッチ部のボタンの位置が前蓋の穴と合っていることを確認し、本体へ押し当てます。(図9-4)



お願い

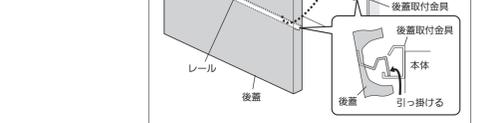
- 前蓋取り付けの際、スイッチをキズつけないよう十分注意してください。

4) 前蓋を上方に持ち上げながら、手順2)で取りはずした取付ねじ2本で本体下側からしっかりと固定します。(図9-5)



3 後蓋を本体に引っ掛けます。(図9-6)

- 後蓋裏面のレールを本体の後蓋取付金具に図のように引っ掛け、本体側へ押し当てます。



4 後蓋を固定します。(図9-7)

- 後蓋を上方に持ち上げながら、付属品の皿ねじ(M4×10)2本で本体下側からしっかりと固定します。



10. 組み立て

1 オイルパネルを取り付けます。(図10-1)

- オイルパネル後方の引掛け部を本体に引っ掛けてから、オイルパネルを押し、手で支えながらオイルパネル取付ねじ2ヶ所を締め付けます。



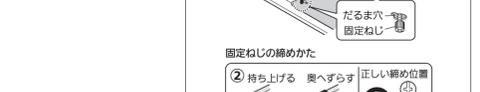
2 スロットフィルタを取り付けます。(図10-2)

- 1) オイルパネルのツメ部にスロットフィルタを差し込みます(①)。
- 2) スロットフィルタの手前側を上を持ち上げ、フィルター押さえをカチッと音がするまで奥側にスライドさせて固定します(②)。
- 3) 整流板を軽く前後に動かしてみ、確実に取り付けられたことを確認してください。



3 整流板を取り付けます。(図10-3)

- 1) 整流板奥左右の整流板引掛け金具を、整流板吊り金具に確実に引っ掛けます(①)。
- 2) 整流板の手前側を上を持ち上げて固定ねじをだるま穴の正しい締め位置に入れ(②)、しっかりと締め付けてロックします(③)。



11. 試運転

注意

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
けがをすることがあります

- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気口から排気され、異音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

12. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。